

行政視察報告書

二宮 博

令和7年10月15日 (水)

消防団の充実強化について 埼玉県三郷市

所感

三郷市では、以前から消防団員の減少が続き団員確保に苦慮しており、これは大分市をはじめ全国的な課題である。そのような中、三郷市では「消防団サポーター事業」や「少年消防クラブ」などの取組を進めており、令和7年は前年比プラスの団員を確保したところである。特に、女性消防団員について、三郷市では「アザレア分団」として活動をしており、応急手当普及員・指導員の取得や講習会など活動を強化している。大分市でも消防ビジョンを策定し団員確保に取り組んでいるが、女性消防団の活動充実も有効な手段であると感じた。

令和7年10月16日 (木)

全天候型遊戯施設「あがりーな」について 新潟県東蒲原郡阿賀町

所感

阿賀町では道の駅「阿賀の里」に隣接する旧民間施設を活用して全天候型の遊戯施設を整備している。あがりーは道の駅のさらなる集客力向上などに寄与しており、館内は非常に広く、親子連れが多く訪れる施設となっている。一方で、事業費は5億円を超え、デジタル田園都市国家構想交付金や過疎地域持続発展支援交付金を活用しているものの、利用料が無料なこともあり、今後の維持管理には課題もあることであった。本市においても、子どもの居場所づくりなどの課題解決の参考とできるが、ハコモノにかかる経費は将来的な展望をもって検討すべきであると感じた。